

分科会の詳細

【第1分科会】

テ ー マ	「愛は地域を救う」～結婚は最小で最大の地域づくり～	
概 要	近年では晩婚化や未婚率の上昇に伴う少子化等の影響により、田舎では急激な過疎化が進んでいます。本分科会では、実際に田舎に移住した方々から、田舎暮らしの良さや結婚の魅力、また、抱える課題の報告をもとに、より活気ある暮らしやすい地域づくりのあり方を探ります。	
プログラム	時 間	内 容
	13:30～13:35	開会・趣旨説明
	13:35～14:00	ビデオ上映 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 県外の都市部から県内の田舎に移住された3世帯の暮らしぶり取材したビデオを上映。 </div>
	14:00～16:00	シンポジウム 「愛は地域を救う」～結婚は最小で最大の地域づくり～ 【コーディネーター】 NPO法人わははネット 理事長 中橋恵美子氏（香川県） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 「香川の子育てをもっと楽しく！」をモットーに地域密着型子育て情報誌や子育て応援タクシーなど、子育て中の当事者目線で数々の子育て支援や地域コミュニティの再生を展開中。 </div> 【事例報告者】 ① 山田氏（高知県出身→久万高原町在住） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 高知県から久万高原町へ移住された立場から。 </div> ② 青江氏（大阪府出身→東温市在住） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 大阪府から東温市へ移住された立場から。 </div> ③ 二宮氏（東京都出身→伊予市在住） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 東京都から伊予市へ移住された立場から。 </div>

【第2分科会】

テ ー マ	「つながる・ひろがる・防災力！」～子どもたちがつなぐ地域と防災～	
概 要	東日本大震災でも、日頃の地域のがりが力を発揮したと言われます。その中でも「釜石の軌跡」をはじめ避難活動、避難生活でも子どもたちの活躍が多く見られました。本分科会では、子どもたちが地域のつなぎ役やコミュニティの一員だった事例を中心に紹介し、地域防災力を高めるための手法を考えます。	
プログラム	時 間	内 容
	13:30～13:35	開会・趣旨説明
	13:35～14:50	講演 「子どもの防災意識から見る地域づくりの課題—アンケート調査結果から—」 聖カタリナ大学 人間健康福祉学部人間社会学科 講師 徳田 剛氏 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 身近な社会生活での出来事や震災事例をもとに、人間関係が希薄化している現代社会において、いかにしてうまく集まりやつながりを構築できるかという地域社会学分野を研究中。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 釜石の軌跡DVD上映や防災意識調査結果アンケートの分析結果と解説、シンポジウムに向けた課題提示を行います。 </div>
	14:50～16:00	シンポジウム 「防災教育と災害に強い地域づくり—学校・家庭・地域社会の現場から—」 【コーディネーター】 聖カタリナ大学 人間健康福祉学部人間社会学科 講師 徳田 剛氏 (事例報告者) ① 徳島市津田中学校 教諭 小西正志氏 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 中学校が地域と密接に関わりながら取り組んでいる防災教育の視点から。 </div> ② NPO法人えひめ311 事務局長 澤上幸子氏 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 県内に避難している被災者を支援するためのNPO法人。東日本大震災の被災者の立場から。 </div> ③ 松山市余土地区社協・サロン 会長 上原光代氏 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 住民主体の支えあいを目指している地区社会福祉協議会。地区社協やサロンで取り組んでいる防災頭巾づくりを通じた防災の取り組みから。 </div>

【第3分科会】

テ ー マ	社会からの孤立を防ぐ～他人事ではない！生きにくさ～	
概 要	近年の経済状況や雇用環境の厳しさなどから、路上生活や多重債務、アルコール依存症等により社会的孤立を余儀なくされている人々は少なくありません。本分科会では、社会的孤立に置かれている人々の現状認識と、複雑・多様化している課題改善のため、民間支援者の実践報告から支援のあり方を探ります。	
プログラム	時 間	内 容
	13:30～13:35	開会・趣旨説明
	13:35～16:00	シンポジウム 「社会的孤立を防ぐ～他人事ではない！生きにくさ」 (司会・コーディネーター) NPO法人えひめNPOセンター 代表理事 菊池 修 阪神淡路大震災後、NPO法人を設立。NPOの基盤強化や人材育成、企業との連携など、数々の中間支援活動を全国で展開中。 (話題提供者) ① オープンハンドまつやま メンバー 井上喜宣氏 路上生活者問題に関心をもつ市民、学生によって立ち上げられた団体。夜回りや炊き出し、訪問、福祉相談などの日常生活支援から。 ② NPO 法人松山たちばなの会 事務局長 青野貴美子氏 多重債務などの理由により生活困難に陥ってしまった方々の無料生活相談窓口など、弁護士や司法書士等と連携している実践から。 ③ NPO 法人今人倶楽部 副代表 高塚政生氏 障がい者をはじめ、その人らしい生活を送るための支援を行う団体。24時間電話相談などから、浮き彫りになった孤立問題の事例から。 ④ つなプロ気仙沼 代表 川崎克寛氏 午前中の講演講師。3.11 での気仙沼における孤立・孤独問題を地域支援の立場から。

【第4分科会】

テ ー マ	ボランティアの新陳代謝	
概 要	ボランティアグループが、継続的な活動を行うためには、「メンバーの固定化・高齢化」など様々な課題が障壁となっています。本分科会では、これらの課題を改善すべく、若者の参加や団塊世代の参加、後継者育成を積極的に行っている事例を紹介し、活動の維持・発展の参考にしてもらうと同時に、活動のネットワークを築きます。	
プログラム	時 間	内 容
	13:30～13:35	開会・趣旨説明
	13:35～14:15	講演 「ボランティアの課題解決に向けて」 聖カタリナ大学 人間健康福祉学部社会福祉学科 助教 高木寛之氏 ボランティアのあり方や組織マネジメントなどのボランティア・市民活動分野をはじめ、地域福祉や福祉教育を研究中。
	14:15～15:15	シンポジウム 「ボランティアの新陳代謝」 (コーディネーター) 聖カタリナ大学 人間健康福祉学部社会福祉学科 助教 高木寛之氏 (実践発表者) ① 「トーンチャイムを通しての地域発信」 トーンチャイム・グループすいーてん・はーと (松山市) ② 「読み語り隊における人材育成について」 読み語り隊 (伊予市) ③ 「地域に飛び出せ！団塊世代」 配食ボランティアさくら会 (東温市) ④ 「What's ボランティア?!」 ORIK (久万高原町)
	15:15～15:35	意見交換
	15:35～15:50	情報提供「広域松山圏ボランティア協会の活動について」 松前町ボランティア連絡協議会 会長 丸田 力
	15:50～16:00	まとめ 聖カタリナ大学 人間健康福祉学部社会福祉学科 助教 高木寛之氏